

2025-26年度 第2650地区スローガン
「未来へつなぐ」

第2650地区 [1961.3.28創立]

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

会 長	山 田 博
副 会 長	安 田 志 郎
幹 事	木 原 常 裕
会報・資料委員長	酒 本 良 司

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp

地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール
事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第32回(通算3072回)2026年(令和8年)4月14日号

本日の例会(4月14日)

クラブフォーラム(国際奉仕委員会)
「シンガポールバンザイ!!」
大和高田ローターアクトクラブ会長 竹岡遼弥様

次回の例会(4月28日)

「悠久の時空を超えて蘇る万葉足蹴鞠」
NPO法人21世紀フォーラム 元塚敏彦様

4月7日の例会報告
会長の時間

3月29日(日)の65周年記念式典及び家族会には多数ご参加をいただき、誠にありがとうございました。田中親睦委員長をはじめ親睦委員会の皆様、本当にお世話になりました。当日は、清水会員による雅楽演奏、川中会員による仏教の世界についての記念講演をいただき、親睦会においてはコール輪音のすばらしいお声をお聞かせいただきました。これから先、70周年に向けて、また楽しく団結しながら頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

4月1日(水)には大和高田RACによるお花見例会が開催されました。ローターアクト委員会の方々、ご参加いただいた会員の皆さん、本当にお疲れさまでした。

続きまして、4月4日(土)、5日(日)の地区大会にご参加いただきました皆さん、本当にありがとうございました。私から以前お願いしておりましたが、本大会では途中でご退席の方もあまりなく、最後までご参加いただきました。重ねてお礼申し上げます。

地区大会では、「平和の未来を考える」というシンポジウムがございました。映像によるシンポジウムということで、亡くなられた千玄室大宗匠、鵬雲斎様の映像も久しぶりに拝見いたしました。意味のある講演であったかと思えます。皆さん、これからもロータリー地区大会にご参加の程よろしくお願いいたします。

幹事報告

◎新しいバナーがご入り用な方に、5000円でお分けておりますのでお申し込みください。

◎危機管理委員会のご報告

社会長エレクトが委員長に選出されました。

次年度幹事報告

藤井宏典次年度幹事

次年度のクラブ概況報告書におきまして、ご住所・お名前・アドレス等のご確認をお願いいたします。また、クラブ概況報告書に載せる写真撮影を、来月の5月12日(火)、19日(火)の例会の際に撮影をいたします。

ゲスト

やなせなな様(梁瀬奈々様 教恩寺住職
シンガーソングライター 卓話講師)

誕生日祝

高木美香会員(4月10日)

結婚記念日祝

高木美香会員(4月10日)

創業記念日祝

川中光教会員(4月7日)川中教正会員(4月7日)

吉川利幸会員(4月7日)清水良彦会員(4月8日)

鈴木勝士会員(4月11日)

委員会報告及びその他報告

◎趣味の会委員会 芸術・舞台・文化を楽しむ会
松倉圭吾世話人

新歌舞伎座での『おだまり、お辰!』の観劇申込みですが、本日締め切りとなっております。出欠を回しますのによりしくお願いいたします。

◎雑誌・IT委員会 吉岡寛人委員長

『ロータリーの友』4月号のご案内をいたします。5ページから環境月間の記事が載っております。8ページはタイでの防火林に関する記事です。10ページからは「グローバルに芽吹く環境保全の奉仕の種」ということで、ロータリーの河川クリーンプロジェクトとか、シンガポールのマングローブの教育事業とか、台湾の河川計画等の記事が載っております。18ページには、日本に暮らす米山奨学生たちの声を届けるという記事がございます。22ページには、全国各地のロータリーの活動が載っております。最後のページには長与千種さんの記事が載っております。

◎親睦委員会 田中康正委員長

過日、3月29日(日)の65周年記念式典、並びに4月5日(日)の地区大会に、皆さんご参加いただきまして、本当にありがとうございました。特に65周年の記念式典では、清水会員、川中会員、コール輪音の皆様方、本当にお疲れさまでした。非常に盛り上げていただきました。

ニコニコ箱

・65周年記念式典家族会へのご参加、また地区大会へのご参加ありがとうございます。やなせなな様、卓話楽しみにしています。 山田 博会員
・65周年記念式典おめでとうございます。やなせなな様、卓話よろしくお願いいたします。 安田志郎会員

4つのテスト [言行はこれに照らしてから]

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

・皆様、黄砂にお気をつけください。65周年式典・家族会・地区大会の参加ありがとうございました。

木原常裕会員

・やなせななさんにお会いできて、奈良県のケアマネ協会でもお世話になりました。

竹村恵史会員

・やなせななさんをお迎えして、鈴木勝士会員

・65周年記念式典に皆様、多数参加いただき、誠にありがとうございます。清水様、コール輪音の皆様、川中様には大変お世話になりました。

田中康正会員

・65周年には舞楽の演奏ご依頼ありがとうございました。やなせななさん、よろしく願います。

清水良彦会員

・家族会及び地区大会では関係委員会の皆様、会員の皆様に大変お世話になり、ありがとうございました。

黒松 健会員

・65周年記念式典欠席のお詫び。吉村元嗣会員

・地区大会欠席のお詫び。船木克容会員

・結婚記念日にキレイなお花が届きました。ありがとうございました。

佐藤佳雄会員

・ここまで支えてくださった皆様に感謝。

高木美香会員

・結婚記念日祝のお花を頂戴して。吉村 始会員

・社長就任にあたり、就任祝いのお花を頂きました。ありがとうございました。

松倉圭吾会員

卓話 「“お育て”をいただくということ」

浄土真宗本願寺派 教恩寺住職

シンガーソングライター やなせなな 様



現在、宗教というと、ややこしい・詐欺みたいなどとも言われることがあります。私が思う宗教は、この1枚の絵のようなものです。皆さんは子供の頃、お絵描きをして、太陽に顔を書いたことはありませんか。「お日さん」「お月さん」と何で「さん」をつけるんでしょうね。私たちは誰にも習っていないけれども、大いなる命に見守られて、それを敬い、おそれながら生かされているという感覚があります。これが宗教心で、教わらなくても何となく心の中に既にあるものだと思っています。

ここで私が住職を務めるお寺の本堂でこのことを歌っている姿をお見せしたいと思います。皆さんも御存じの『夕焼け小焼け』です。

この曲はすごく宗教的だなど、私たち仏教徒からしたらお経みたいな歌だなどと思っています。カラスなんか嫌われ者になりがちですけれども、一緒に帰ろうという、命は一人で生まれてきたものじゃないな、お父ちゃん、お母ちゃんがカラスにもいるんだなど思ったりする、とても知的な曲ですね。

皆様方も子供の頃、お家にお仏壇があって、手を合わせる年長の方の背中を見て育たれた方も多いでしょう。私は寺でしたから、毎日夕方、夕餉のお勤めの時間がありました。炊きたてのお米をお供えして、おばあちゃんと一緒にお勤めします。けれども、子供なりにお勤めをしたくない日もありました。宿題が多い、見たいテレビがある、ささい

なことです。そんなとき、普段は優しくかった祖母が、とても厳しい口調で、「絶対におまえは休んではならない」と言いました。

その理由は、祖母が戦争未亡人だからです。昭和19年、祖父は学校の先生をしていて、蚊もあんまり殺さないようなおとなしい人だったそうですが、赤紙が来て、戦争へ向かいました。中国大陸へ向かう船の中で体調を崩してすぐに死んでしまいました。おばあちゃんはその話をすると、「戦争のときは、物すごくひもじかった、苦しかった、悲しかった」と繰り返し繰り返し、90代になっても昨日のこのように話していました。そんな祖母が涙をぬぐえるのは仏様の前でした。「おじいちゃん、苦しい思いして死んだけどな、今は仏さんの国から私らのことをいつも見てくれたはんのやで」。おばあちゃんが大切そうにそう言って手を合わせているので、本当のことなんやなと思いがちながら育ちました。

次に1曲聞いていただきます。『兵隊おくり』という歌です。宇山基道さんというシンガーソングライターがお作りになった歌です。宇山さんはケアマネジャーとシンガーソングライターの二足のわらじを履いておられます。

あるとき、一人の高齢の認知症の女性をデイサービスに連れていくため車に乗せました。すると、村のあるところに来ると、その女性は「ここでな、兵隊さんを見送ったんやで、悲しかったな」と言うんです。また、別の日も同じように。認知症になっていろんなことを忘れても、兵隊さんを見送った悲しみはずっとこのおばあちゃんの胸に残っていたのです。宇山さんはこのことに胸を締めつけられるような思いがして、この曲を作られました。

私たちは歳を取りたくない、病気をしたくない、死にたくない、苦しみおびえて生きております。仏教徒の方もそうでない方も、私たちにとって救いの門というのがどこに開かれているのか、生涯を通じ、日々の暮らしの中で探し求めることが仏様にならせていただく、真実に目覚めていく、長い長い修行の道だと思っています。

私の母は認知症になりましたので、4年間介護しました。そして、亡くなりました。仏教徒だから、お坊さんとして勉強したからへっちゃらかかという、全くそんなことなく、介護はとてつらかったし、死別は悲しみに満ちたものでした。皆様方も長く生きれば生きるほど、病や死という悲しみに触れる機会が多いと思います。

最後にお届けする曲は、私の母も好きだった『桜』という曲です。これは大切なご主人を30歳の若さで失った、私の友人をモデルにして歌った、追悼の歌です。高田は千本桜がとってもきれいですよね。皆さんも桜の花のこと、そしてその向こう側に、目には見えない、触れることもできないけれども、亡くなってしまった大切な人が、実はすぐ近くで私たちのことを見守ってくれている、そんなことを感じていただければ幸いです。

今日は仏教の味わいと、私の歌をお届けいたしました。どうもありがとうございました。

出席報告	会員 総数	出席 義務 会員数	義務 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員数	免除 会員 出席数	免除 会員 MU	出席率
4月7日	85	55	43	12	6	30	24	0	92.41%
3月29日	87	57	39	18	0	30	17	0	75.67%
3月24日	87	57	46	11	6	30	24	0	93.83%
3月10日	87	57	52	5	0	30	20	0	95.50%

※食品ロスの削減に努めましょう。(3月24日の弁当残数は4個)